

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるコクロディニウム ポリクリコイデス(注1が最大0.02細胞/ml、カレニア ミキモトイ(注2が最大0.21細胞/ml、カレニア パピリオナセア(注3が最大0.22細胞/ml、シャトネラ マリナ(注4が最大0.06細胞/ml確認されました。
現在の細胞数は少ない状態ですが、先週の調査時と比較し細胞数が増加しているプランクトンも確認されるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またプロロセントラム マイカンスが最大0.76細胞/ml、アカシオ サンガイネアが最大0.14細胞/ml確認されました。当プランクトンは基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大0.08細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	シャトネラ マリナ	プロロセントラム マイカンス	アカシオ サンガイネア	ギムノディニウム カテナータム
弘浦②(別図①) 採水時間 12:15 透明度 - m	5.0	25.2	33.4	6.2	0	0.05	0	0	0.12	0	0
青瀬山(別図③) 採水時間 11:55 透明度 - m	5.0	25.4	33.4	6.7	0	0.21	0	0	0.07	0.01	0.08
一切田(別図⑩) 採水時間 12:00 透明度 - m	5.0	25.0	33.5	5.7	0	0.1	0.01	0	0.06	0.14	0
大島中央①(別図⑤) 採水時間 11:40 透明度 - m	5.0	26.1	33.4	6.4	0.02	0.06	0.22	0.06	0.76	0.02	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 11:31 透明度 - m	5.0	26.1	33.2	6.5	0	0.03	0	0.01	0.13	0.01	0
片島(別図⑦) 採水時間 11:16 透明度 - m	2.0	27.4	32.5	5.4	0	0	0	0	0.02	0	0